

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年6月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677000111
法人名	社会福祉法人 福寿会
事業所名	グループホーム るーぴんのさと<大崎>
所在地	鹿児島県曾於郡大崎町永吉6033番地 (電話) 099-471-7390
自己評価作成日	令和6年5月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和6年5月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様・スタッフが笑顔で過ごせる施設作りを行っています。
フロアで過ごせば笑い声が絶えません。施設内には職員が手作りで作った折り紙が飾っており、又壁には「あなたの笑顔大好き」と言う事で、利用者様の笑顔の写真が飾っています。
余暇活動で春にはあくまき作り、冬には囲炉裏を使って石焼き芋など季節感を味わって頂いております。
月に一回ドライブへ出かけルーピンの花・桜・海など車窓から見学し外出を楽しんで頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は特別養護老人ホームが母体で、法人全体の会議やグループホームの部署会議、研修などを定期的に開催し、法人内の協力体制が整っている。
- ・家族との面会や外出・外食・外泊も要望に沿って対応しており、家族との交流を支援している。事業所でも2ヶ月毎の近況報告や自宅訪問・墓参りの支援に取り組み、これまでの馴染みの関係を継続できるよう努めている。
- ・管理者・職員は利用者に食事や生活を楽しんでもらえるよう、手作りのおやつや誕生日のケーキの提供等、日常の散歩や季節の花見・ドライブに取り組んでいる。
- ・管理者は個別面談や会議等で職員の意見を聞き、反映できるよう努めている。職員の研修参加や資格取得を支援し資質向上を図り、休憩時間の確保や有給取得などで働きやすい職場環境作りに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を見えやすい位置に掲げて意識付けを行い、朝礼時唱和している。	理念を玄関やホールに掲示し、朝の申し送り時に唱和・確認している。年度末や処遇会議でケアの振り返りを行ない、理念に沿った実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議で民生委員と情報交換行い、法人内の祭りなど参加している。 町内の行事などには参加出来ていません。	運営推進会議時に地域情報は得ているが、地域行事への参加は見合わせており、駅伝の応援を地域住民と一緒に楽しんだ。ボランティアの受け入れ態勢はできている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	感染症予防により現在も進んでいない状態。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	大崎町・地域包括支援センター・民生委員・利用者家族・交番・消防団などと意見交換し、サービスに活かしています。	2ヶ月毎に運営推進会議を開催し、事業所の報告及び意見交換を行っている。消防団や派出所の参加もあり、施設や利用者の状況を周知できる機会でも、出された意見をサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議・大崎町のケアマネ研修・他の法人など連携をしている。	町の担当者とは気軽に相談できる関係を築いており、運営推進会議時の意見交換を始め連携を密に取っている。生活保護担当者による年2回の来訪もある。町や協議会の研修を受講し、情報収集にも努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	各事業所や法人全体で話し合い・又は研修を実施している。	法人で指針を作成し、委員会を毎月1回、研修を年2回実施する他、事業所でメディパスアカデミーでの研修も実施している。スピーチロックに気づいた時はお互いに注意したり、必要時は処遇会議で話し合っている。玄関の施錠はせず、外に出たい利用者には職員が散歩に同行している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	メディパスアカデミーと言う研修動画・部署会議での勉強会など行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	身体拘束委員会・虐待防止委員会を中心に勉強会を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時の説明を行い、その後もフォローを行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族からの情報などは情報ツールを使用し共有するようにしている。	利用者が要望等を表出しやすいような声掛けに努め、家族の協力も得て対応している。家族の要望は面会時に職員から声掛けをしたり、職員から外出を働きかけることもある。家族等からの情報はグループラインで職員間の共有を図っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	部署会議・処遇会議などを通じ意見収集を行っている。個別面談を年に3回実施している。	管理者は日頃から意見等を聞くように取り組み、部署会議・処遇会議でも意見を聞く機会を設けて意見を反映できるように努めている。年3回の個別面談を実施する他、職員からの個別相談は随時受けて対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課を行い、評価体制を整えている。年に1回リフレッシュ休暇がある。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	リモートでの研修・メディパスアカデミーと言う研修動画・処遇会議で勉強会など行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者とは新規入所者や紹介で入所された利用者様の状態を報告している。新規入所様のケアについての相談し交流をしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に状態確認を兼ねた面談を実施し、ご本人や担当ケアマネ、他サービス事業者より状態や、生活歴・生活に対する意向など会話を行う。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に数回電話連絡を行い、生活の意向や在宅での状況などの確認、入所時のサービス担当会議に再度詳しく利用者様本人の情報を頂く。家族に協力を頂き、家族に本人様が不安に思っている事など話をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所申込時や入居決定時に、ご家族様との電話連絡や面談時に計画を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々で出来ることを職員で話し合い、生活リハとして出来ることを行っていただくことで、自分も人の為になっていると思えるよう支援する事で関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	担当者はご利用者様に必要な物を持ってきてもらうなど、支援協力を仰いでいる。また持ってきていただいた時に面会を促し、ご利用者様とご家族が良い関係でいられるように支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在は出来ていないが、馴染みの美容室など行けるように支援して行きたいと思っている。	面会室や玄関での面会を実施し、家族の希望があれば外出・外泊・外食にも対応しており、家族と利用者の関係が途切れないように努めている。本人の希望で、墓参りや自宅訪問に職員が同行することもある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士の相性なども考慮しながら、良い関係で関わっていけるように、座席の位置や活動場所を決定し、支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院時には職員が来院し、可能であれば面会を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様やご家族へのアセスメントを行う際に、暮らしの希望や意向の把握に努めている。	日常会話の中で、本人が思い等を話せるような声掛けをしており、得た情報はグループラインで職員間の共有を図っている。困難な場合は、アセスメントや家族の情報を参考に、職員の関わりの中で汲み取って支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人や居宅の担当ケアマネやご家族へ電話連絡や入居前の状態確認時、初回担当者会議などで聞き取りを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中での生活のパターンを、また処遇会議などで現状の把握を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日頃から状態変化や気づきなどを職員間で情報共有したり、月1回の処遇会議やモニタリングの結果、ご本人との日常での会話やアセスメント、ご家族とは電話連絡や面会時に話をし作成している。	担当者会議を家族やケアマネジャー・管理者・職員等で実施し、介護計画を作成している。モニタリングを3～6ヶ月毎に実施している。見直しは3～6ヶ月毎及び状況変化時に行い、現状に合った介護計画にしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	健康チェック表や排泄チェック表などを用いて、日頃から情報共有を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々のケアの中での気づきや、ご利用者・ご家族との会話の中で意向や要望など聞き取り、出来る限り沿えるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	感染症予防の観点から、地域住民との密になる交流は出来ていない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医の的場医師による往診で対応し、眼科・歯科・皮膚科受診は家族の支援とる一ぴんのさとして対応を行っている。	契約時にかかりつけ医は協力医となることで了解を得ており、月2回の往診及び24時間の医療連携で適切な医療を受けられるよう支援している。週1回の訪問看護や歯科の往診もある。他科受診は家族対応を基本に支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設看護師・的場クリニック看護師・訪問看護ステーションオハナと連携を取り体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先へ訪問し、関係者と情報交換を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時、入居後も急変時や状態変化が見られる度に家族に報告し方針を決定している。本人様の意向に沿えるように事業所で出来る事をチームで共有し取り組んでいる。	契約時に重度化等の場合の対応について特別養護老人ホームも含めて指針で説明し、同意書をもっている。状況に応じて家族の意向を確認し、意向に沿って支援に取り組んでいる。要介護4～5で特別養護老人ホーム入所を選択するケースが多くなっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防による救急救命講習がコロナ禍で中止になっていたが、昨年度より再開され、職員が交代で参加を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防立ち合いの元で避難訓練実施している。 防災担当を職員で配置し食材・防災道具の管理をし、災害に備えている。	年2回、消防署の立ち合いを受けて夜間想定避難訓練を実施している。消防団員の参加もあり、地域との協力体制を築いている。非常用の備蓄は、3日分の水・米・缶詰の食料及び配食サービスの3日分（冷凍）を準備している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	マニュアルに沿って一人一人にあった声のトーンで声掛け行っている。暮らし方・性格も違うので、個々に配慮し支援している。	メディパスアカデミーでの研修を実施し、個々に合わせた声掛けをしている。排泄に関する情報伝達は大声を出さないように努め、申し送りはホールに利用者が居ない時に行うなど、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の意思決定しやすいように援助してる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様のペースに合わせる工夫をし、要望があれば話し合いを行う。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人様の意見を聞きながらお気に入りの洋服を準備し、着たい洋服を選んで頂いている。イベント時には希望者には化粧の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様が食べたい物を一緒に調理する援助を行っている。	配食サービスを利用し、職員が個々に応じて刻み等にして提供しており、利用者もテーブル拭きや茶わん洗いを一緒にしている。手作りのおやつや誕生日ケーキ・仕出し弁当など、食事を楽しんでもらえるよう取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人様の嗜好に合わせその時々 の状態により調整を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔内の観察を行い、歯科往診にて調整を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中は定期的な声かけ誘導を行い排泄を促し、夜間は個々に応じた排泄の援助を行っている。	日中は声かけ誘導を行い、トイレでの排泄を基本に支援している。リハビリパンツとパット併用が主であり、適切なものを個々に応じて使用している。夜間のみ、ポータブルトイレ使用やパット交換を行う利用者もある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	状態に合わせた乳製品の提供や食物繊維の提供を行い、便秘の解消に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	浴槽へ入れない利用者様へは足浴を実施し、身体が冷えないようにお湯をかけている。冬至にはゆず風呂を実施している。	週3回午後に入浴を支援しており、回数は希望で柔軟に対応している。シャワー浴が増えているが、ゆず湯や入浴剤で入浴を楽しんでおり、同性介助にも対応している。嫌がる場合は、日時を変えたり声かけを工夫して実施している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はフロアで過ごし活動量をあげメリハリをつけ、夜間は安眠出来る様な雰囲気づくりをしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	状態の変化を行い、主治医・薬剤師との連携を図り支援を行っている。薬の説明書と手帳の管理を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人役割がある事で張り合いが出て来る様に支援し、楽しみ事や気分転換を図り個々に応じた支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	家族に協力をもらいながら、ト外へ出かけられるように支援を行っている。その他では、季節に応じて花見に出掛けたり、ドライブ等を計画して戸外へ出掛けている。	日常的に近隣の散歩をしている。年間計画を作成し、毎月1回法人の車を使用して季節の花見に出かけている。家族の協力を得て、外出や外食・外泊に出かける利用者もある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族からの希望のある利用者様のお金は、少額の現金を金庫で保管し、買い物の際に使えるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	いつでも自由に電話のやり取りが出来るように支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間が心地良いである様に配慮を行い、中庭や玄関先には季節の花や野菜等を植え、水やりや収穫を楽しめる工夫をしている。	ホールは空気清浄機や加湿器・エアコン・扇風機で適度な室内に調節し、高窓を少し開けて換気を行っている。季節の作品や花を飾ったり、冬は囲炉裏や掘りごたつを設置して季節を感じてもらえるようにしており、利用者が思い思いにくつろげるようソファも置いている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	その時々利用者様の状態に応じた居場所作りを提案、工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には本人様を使い慣れた物や好みの物を生かし、居心地良く毎日を過ごせるように工夫を行い季節ごとに衣替えも行っている。	居室は和室と洋室があり、ベッドや洗面台・空気清浄機・エアコンが備えられ、寝具はリースである。本人は必要に応じて使い慣れた寝具やテレビ・タンスを持ち込み、写真等を飾って安心して過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は自立できる様な環境を整え、安全面にも配慮を行い安心して生活が送れるように工夫をしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない